

福岡市が目指す子ども像 ～基本的な生活習慣を身につけ、自ら学ぶ意欲と志を持ち、心豊かにたくましく生きる子ども～

- 確かな学力、豊かな心、健やかな体などの生きる力を身につけ、社会の一員としての自覚を持って行動できる子ども
- 郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統、文化を愛し、守り伝える子ども
- アジア、世界の中心の福岡という視点をもって様々な価値観を認め合い、他者や社会、自然や環境とともに生きることのできる子ども

福岡市の教育についての、5つの基本的考え方、16の重点施策

- 基本的考え方1 たくましく生きる子どもの育成**
- ① 確かな学力の向上(9)
 - ② 豊かな心の育成(11)
 - ③ 健やかな体の育成(7)
 - ④ 福岡の特性を生かした教育の推進(10)
 - ⑤ 市立高等学校の活性化(4)
 - ⑥ 人権教育の推進(6)
 - ⑦ 不登校の子どもへの支援、いじめの未然防止の充実(10)
 - ⑧ 特別支援教育の推進(7)

- 基本的考え方2 信頼される学校づくりの推進**
- ⑨ 学校の組織力の強化(5)
 - ⑩ 学校と家庭、地域の連携の強化(5)

- 基本的考え方3 信頼に應え得る教員の養成**
- ⑪ 資質ある優秀な人材の確保(3)
 - ⑫ 教職員の資質、能力の向上、活性化(12)

- 基本的考え方4 社会全体での子どもたちの育成**
- ⑬ 子どもたちの安全確保に向けた取り組みの推進(6)
 - ⑭ 家庭、地域における教育の支援(8)

- 基本的考え方5 教育環境づくりの推進**
- ⑮ 安心して学ぶことができる教育環境の整備(5)
 - ⑯ 教員が子どもと向き合う環境づくり(7)

公教育の福岡モデル

重視する教育内容

I 福岡スタンダード（すべての子ども達に身につけさせたい実践的態度）
 (1)挨拶→人とのかかわり (2)掃除→社会や環境とのかかわり (3)自学→自分とのかかわり (4)立志→将来とのかかわり
 確かな学力、豊かな心、健やかな体…
 基本的な生活習慣が基盤となる

II ことばを大切にしている教育（ことばはコミュニケーションの手段として最も重要）
 (1) 日本語を正確に理解し表現する「国語の能力」
 (2) 自分の思いを他者に伝える、他者との人間関係をつくる「コミュニケーション能力」

III 子どもの力を引き出し発揮させる教育（やる気、意欲、伸びようとする態度を支援）
 (1) 楽しい、わかる、魅力ある授業づくり、活動づくり→わかった！、できた！が実感できる授業
 (2) 感動、達成感、満足感を味わう遠足、自然体験、社会体験→心身の発達、個性の伸長
 (3) 学級活動、児童会活動、生徒会活動の活性化→自治的能力の伸長
 (4) クラブ活動、部活動の活性化→スポーツ、文化、科学等に親しむ
 (5) 個々の教育的ニーズに応じた適切な指導、支援 特別支援教育推進プラン

新設校は福岡市の教育計画を実践し、施設一体型の強みを生かして小中連携教育に特化する

重視する教育方法

IV 小中連携教育←施設一体型小中連携教育を導入、学校の教育力を強化
 (1) 9年間を見通した学習指導 読み、書き、計算の徹底、9年間の連続性ある指導と積み上げ
 【前期】学級担任制(4年)～【接続期】学級担任制→教科担任制(3年)～【後期】教科担任制(2年)
 発達段階に応じて、9年間で思考力、判断力、表現力を段階的に育成
 (2) 心の教育の充実、適応指導の充実
 子どもと子ども、子どもと教員の豊かな人間関係の中で、自分を大切に、他の人を大切にする心を育成
 小学校段階から個に応じた学校適応指導などの予防的な取り組みにより不登校を防止
 (3) 体力の向上（規則正しい食生活、早寝早起き～体力向上推進計画）
 運動をするための体力づくり、健康に生活するための体力づくり、発達段階に応じた食に関する指導
 (4) キャリア教育の充実
 将来に目標を持ち、進路を切り拓く子どもの育成
 1/2成人式、職場訪問・体験、立志式、卒業証書授与式・・・など節目を重視
 (5) 特別支援学校との連携
 小中学校等と特別支援学校の交流及び共同学習の充実、居住地校での行事や学習交流：副籍制度の推進

V 家庭、地域、企業等と連携した教育活動「共育」 ～ 社会全体で子ども育てる
 (1) 福岡スタンダードの推進
 (2) 地域や児童生徒の実態を踏まえた教育活動を創り出す
 (3) 地域全体で学校教育を支援する事業を推進する（学習支援、活動支援）